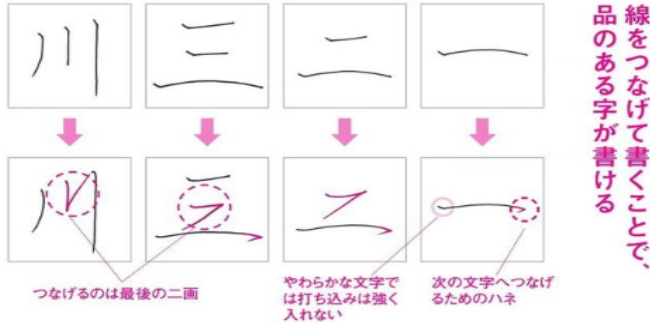


# 自分の名前をきれいに書くコツ

## 1、線をつなげて、柔らかい印象に

柔らかさを出すポイントは、次の線へのつながりです。「一」「二」「三」「川」などを書くときも次の字へのつながりを意識して、書き終わりは止めないで内側に向けてずっと「はね」を入れることで、印象はぐっと変わります。

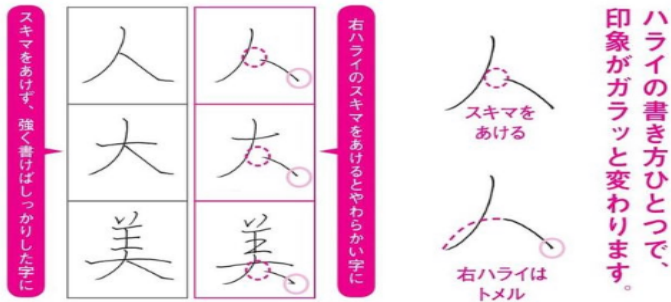


「三」なら、1画目と2画目はつなげず、2画目と3画目をつなげます。「川」も同様に、最後の2画の線だけをつなげると、柔らかい印象に変わります。また、強い打ち込みを入れないほうがしっとりとした字になります。

## ポイント2、3は？

### 2、はらいはすき間を空ける

「人」「木」「大」などのはらいが使われている漢字は、右はらいの書き方を工夫するだけで、柔らかい印象を与えます。



ポイントは、線をつなげずに少しだけすき間を作り、最後をしっかり払わずに止めることいいでしょう。

### 3、角に丸み（曲線）をつける



「智」「里」「京」「結」など、四角が入った漢字は角張った印象になりますが、曲線を使うことで、柔らかく、こなれた印象の字になります。

まず覚えていただきたいのが、四角の書き方です。「口」のような四角の文字は、数字の2を書くイメージですつと書きます。この応用が中とじです。

「日」「田」のような字を書くときも、しっかりと中をとじず、2を書くようにします。「角を丸くする」とは、「田」や「山」などの角張った文字の折れ部分は丸みのある曲線で書きます。カクカクさせず、全体を丸くすることで上品な印象になります。

名前から受ける印象はすごく大事ですよ。

「どんな人」だと思ってほしいかで書き方を変えることもできます。「字は体を表す」と言う通り、ビジネスの間柄でこそ、手書きの名前で

自分のイメージを伝えてみては、いかがでしょうか